

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。これはわが国憲法第二十五条に規定されている条文です。健康であること、豊かで明るい生活、これはすべての人々の願いであります。

地域ぐるみの活動

南地区保健福祉地区 三部落保健福祉地区

健康で明るく楽しい生活を皆なで築き上げよう

健康で明るく楽しい生活を皆なで築き上げよう。地域ぐるみの活動を通じて、こころの健康、雪田、鎌沢の三部落は、保健福祉活動推進委員会を設け、病気の予防、児童の健康、児童の保健福祉活動など具体的な活動を進めておられます。

具体的活動方針
病気になるまい運動、児童の保健福祉活動の二つをかねて実施事項として、栄養講習会の実施、健康大学の開催、衛生害虫の駆除、家族除菌の実施、集団検診、飲料水の品質

これから

管理が大切

苗不足が心配されながら無事植え付けをおえ低温であった晴天に恵れホッとして連日の晴天に恵れホッとしたところですが、安心してはまだまだです。冷害を克服するには、これからの管理いかににかかっているのです。町冷害対策本部ではこれから本田管理にあたって次のことが十分に注意されるよう望んでいます。



冷害を吹っ飛ばせ

春先からいろいろ作業がおくれ、異常低温に悩まされながらも、農家の人達の努力がつづく、このため努力は冷害を克服しやがて豊かな稔りで報いられることでしょう。

〔写真＝南地区にて15日写す〕

豊富な水量

羽根山の簡易水道

町内はじめての消火栓を併設した簡易水道が羽根山部落に完成、豊富な水量で各家庭の台所に流れ、同時に部落内七カ所には何時でも放水できる消火栓が設置され部落が生まれかわったようだと部落の人達は喜んでいいます。

新天地求めて

佐藤君(川井)ブラジルへ

当町川井部落の佐藤吉治さん(23)は南米ブラジル、サンパウロ州に新天地を求め移住することになり、九月のはじめ横浜港から渡航することになった。同君は治一郎さんの長男で家業の農業を手伝うかわら米内沢高校定時制を卒業、海外進出を決心し、海外移住事業団のあっせんにより移住が決ったもの。すでに茨城県農業技術センターで二十日間の講習をおえ、初めは野菜作りを三年ぐらいやり、やがて独立する計画でコチア産業組合に所属することになっている。本町から南米へ移住するのは五十年ぶりであり、佐藤君の活躍は大いに期待されています。

家畜共進会

町主催の家畜共進会が七月六日、午前九時から役場の広場で開かれます。農業経営にあたって畜産の占めるウエイトをさらに高めようとして毎年開いているもので、飼育者多数の参加が見込まれ盛況が予想されます。

合中、決勝で惜敗

大館、北秋田中学校バスケットボール大会は、去る五、六日の両日にわたって行なわれ、合川中は決勝で鷹巣中と対戦、38対36の二点差、ワンゴール差で惜敗した。

低利な農林漁業資金

農業経営の近代化はますます土地の基盤整備を行なう必要があるといわれています。農林漁業資金は、この事業を実施する場合に長期に低利な融資を行なっているものです。

プロパンの安全な使用法

プロパンガスの使用が増えています。その使用法をまちがいがいと火災など思わぬ事故を引き起こすことになり、プロパンガスの使用設備についての法律が次のように改正になりましたので、販売店に相談のうえ安全な取扱いをしてください。

プロパンの置場所

プロパンガスの容器は、(ボンベ)は屋外の風通しのよい場所に置き、適当なおお(箱等)に入れる)をして置くこと。容器から屋内への引込管は銅配管(金属管)にすること。

町政メモ

- 7月29日 下杉十三時～十五時 下杉児童館前
- 7月29日 羽立十時～十一時 部落集会所前
- 7月29日 西根田十三時～十五時 部落集会所前
- 6月8日 選挙管理委員会 町村民権会
- 10日 参議院選挙告示 県
- 18日 秋鉄局から鉄道踏切り続発の協力について 町に感謝状が贈られた
- 19日 消防退職報償金交付
- 21日 消防幹部会
- 23日 施設監査 林道入札
- 24日 施設監査

みんな受けよう 健康診断の日程

町民の皆さんが健康で明るい生活ができるように、核の健康診断を行なうことになりました。結果は恐しい病気になる前に、早急に見つけたい。早急に見つけたい。早急に見つけたい。

町の無火災が続いています 皆な火の用心が 記録をさらに伸ばします 合川町消防団